

世界遺産登録推進NEWS

国立西洋美術館を世界遺産に！
For The World Heritage!



【発行】2015(平成27)年2月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



国立西洋美術館、世界遺産へ推薦決定！

2016年 第40回世界遺産委員会での登録を目指します

平成27年1月16日(金曜日)、閣議において「国立西洋美術館」を含む「ル・コルビュジエの建築作品」(フランスの推薦枠)の世界文化遺産推薦に係る推薦書(正式版)の提出が了承された旨、文化庁より発表がありました。

今後、フランス政府が関係国を代表して推薦書をユネスコ世界遺産センターに提出した後、専門家構成された諮問機関(イコモス:国際記念物遺跡会議)による約1年半の審査を経て、2016年(平成28年)6月の第40回世界遺産委員会で審議される予定です。

なお、第40回世界遺産委員会では日本政府が推薦書(正式版)を提出した「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(長崎県・熊本県)についても審議される予定です。

今後の予定(文化庁ホームページより)

2015年(平成27年)

1月30日まで ユネスコ世界遺産センターへ推薦書(正式版)を提出 ※関係国を代表してフランス政府が提出

9月頃 イコモスによる現地調査

2016年(平成28年)

4月～5月 イコモスによる評価結果の勧告

6月 第40回世界遺産委員会で世界遺産一覧表への記載の可否を審議



国立西洋美術館 外観

推薦書の概要

名称: 「ル・コルビュジエの建築作品」—近代建築運動への顕著な貢献—
(L'Œuvre architecturale de Le Corbusier
—Une contribution exceptionnelle au Mouvement Moderne)

構成資産: 日本、フランス、スイス、ドイツ、ベルギー、アルゼンチン、インド(7カ国)の17資産 ※裏面 構成資産一覧のとおり

内容: ●ル・コルビュジエは、パリを拠点に活躍した建築家・都市計画家。
●合理的、機能的で明晰なデザイン原理を絵画、建築、都市等において追求し、20世紀の建築、都市計画に大きな影響を与えた。
●世界各地に所在する建築作品のうち、7カ国に所在する17資産について一括して世界遺産に登録しようとするものである。

7カ国が協力しているんだね!



(構成資産の詳細は裏面をご覧ください。)

ル・コルビュジエの建築作品 構成資産一覧

国名	資産の名称	設計決定年
 日本(1)	国立西洋美術館	1955
 フランス (10)	ラ・ロッシュ＝ジャンヌレ邸	1923
	ペサックの集合住宅	1924
	サヴォア邸	1928
	ナンジュセール・エ・コリ通りのアパート	1931
	マルセイユのユニテ・ダビタシオン	1945
	サン・ディエの工場	1946
	ロンシャンの礼拝堂	1950
	カップ・マルタンの小屋	1951
	ラ・トゥーレットの修道院	1953
	フィルミニの文化と青少年の家	1953～1965
 スイス(2)	レマン湖畔の小さな家	1923
	イムブル・クラルテ	1930
 ドイツ(1)	ヴァイセンホフ・ジードルングの住宅	1927
 ベルギー(1)	ギエット邸	1926
 アルゼンチン(1)	クルチェット邸	1949
 インド(1)	チャンディガールのキャピトル・コンプレックス	1952

パネル展開催のお知らせ

現在、浅草文化観光センター、台東区役所1階ロビーでパネル展を下記の通り開催しています。

DVD「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」の放映、各種パンフレットの設置も行っておりますのでこの機会にぜひご覧ください！

■台東区役所1階ロビー

- ◆開催期間：2月2日(月曜日)から2月13日(金曜日)まで
- ◆テーマ：「目指せ世界遺産登録！国立西洋美術館」
パネル展示・DVD放映
- ◆所在地：東京都台東区東上野4-5-6 台東区役所 1階



前回の区役所1階ロビーパネル展の様子

■浅草文化観光センター

- ◆開催期間：1月10日(土曜日)から2月18日(水曜日)まで
9:00～20:00 ※入場無料
- ◆テーマ：「FOR THE WORLD HERITAGE
～目指せ世界遺産！国立西洋美術館～」
- ◆所在地：東京都台東区雷門2-18-9 浅草文化観光センター
7階展示スペース：パネル展示・DVD放映
6階多目的ホール：DVD放映



浅草文化観光センターパネル展の様子

<次回のパネル展開催予定>

■浅草文化観光センター7階

- ◆開催期間：3月25日(水曜日)から4月22日(水曜日)まで

ぜひ来てね！

